

令和5年第1回東京高輪病院地域協議会 議事要録

1. 日 時 令和5年10月26日(木) 16:20~17:00
2. 場 所 東京高輪病院4階会議室
3. 出席者 地域協議会委員 20名出席
代理出席 港区みなと保健所地域医療連携担当 杉山係長(所長代理)
港区白金猿町 伊藤副町会長(会長代理)
港区西町自治会 秋元地域協議会担当(会長代理)

欠 席 港区高輪地区高齢者相談センター 内藤管理者
日山副院長
諏訪副看護部長
新城外来看護師長

4. 要 旨 (●:委員からの意見等、・:当院からの報告等、➤当院からの回答等)

(1)開会あいさつ

(2)委員自己紹介:各委員よりご挨拶

(3)議題

○前回議事要項について(資料配布)

○地域包括ケア病棟活動状況について

- ・5月にコロナが5類に移行し、地域包括ケア病棟では積極的に患者の受け入れを行っている。現在2病棟で合計81床に増床。5~6月のコロナ患者は10名程度であったが、7月に入り近隣施設からの患者が増加し病床稼働率が上がった反面、在院日数は10日ほど短縮、老健施設の患者が多かったこともあり、在宅復帰率も下降した。
- ・入院患者の内訳は、腰椎圧迫骨折・レスパイト・リハビリ目的の方が多い。今年の特徴として、コロナによる家族感染で介護が出来ない、コロナがきっかけでADL低下に伴う退院調整目的で入院される方が多く、今後もコロナ患者の受け入れは継続し治療も行っていく。
- ・10月以降レクリエーションも再開、安心して暮らせる地域づくりに貢献し、医療行為が必要な患者の受け入れも幅を広げている。今後もまずはご相談をお願いしたい。

○救急受入状況について

- ・時間外の応需患者数として、コロナ第7波であったR4年7月にはコロナ患者を含めて、670件の受け入れであった。8月も448件の応需であり、過去18か月を見るとR4年7月8月が最大のピークであった。9月以降一旦終息傾向にあったが、11月後半からR5年1月にかけてコロナ第8波では各月400件を超える救急応需を行っていた。2月以降は減少に転じたが5類に移行後は再び応需件数が増加。7月以降も400件を超える応需となり、例年と比較しても今年度の応需件数は増加傾向にある。
- ・時間外入院患者については、時間外の受け入れ患者数と比例しており、入院患者も増加。入院増加の要因は、コロナ患者に寄るものが多いが、他に消化器・循環器・骨折等の疾患も積極的に受け入れており、応需の体制を整えている。

○コロナ受け入れ状況等について

- ・過去18か月では、R5年8月がコロナ入院受け入れの最大ピークであった。5類移行後は、施設入所中の方をはじめ高齢者の受け入れが依然として多く、大部分は港区・品川区からが締めているが、都内全域からの受け入れ調整も多くなっている。
- ・ワクチン接種については、当院でも積極的に接種を行っており、R3年度からの接種件数として、自院接種(高輪地区をはじめ近隣住民の皆様)6832回、職域接種(高輪・品川地区の地元の事業者様等)21844回を行った。

○診療(病々)連携の状況について

- ・港区は高度医療機関が多く、地域包括・急性期の両面を持つ当院では、より近隣医療機関と連携を取ることで、それぞれの医療機関が力を発揮しやすくなるよう診療の連携を多くの病院と行っている。現在9病院と診療連携を取り、高度医療機関からは治療が落ちつき退院調整を必要とする患者、入院ベッド満床のための転院依頼などがある。当院からは高度医療提供が必要な患者の転院相談などを行っている。
- ・連携協定後の入院件数は概ね増加傾向であるが、今年度上半期、入院件数が増加したのは2施設。全体で紹介件数108件、入院件数70件と減少。連携協定の締結だけでなく、定期的な挨拶まわりに力をいれていくことで、その後のやり取りがスムーズになっている。昨年のコロナ禍に当たっては、連携病院からのご相談には可能な限り応じている。今後も、継続的な訪問活動と、日頃の丁寧な電話対応でスムーズな受け入れを調整し、各病院の機能を発揮して行けるよう、連携強化に努める。

○訪問看護ステーションについて

- ・H30年6月から運営を開始。これまで訪問リハビリは理学療法士1名であったが、今年度から作業療法士も加わり、訪問リハビリ件数が増加している。

スタッフも看護師3名から、今年度4名体制となり、訪問件数も増加している。
認知症認定看護師と接触嚥下障害認定看護師の2名が在籍。認知症や嚥下障害の方の
対応も可能。「老老介護」「認認(認知症)介護」などで、ご夫婦一緒に利用される
方も増えている。

- ・院内医師からだけでなく、港区・港区外(品川区・大田区・渋谷区等)からの訪問診療の
医師とも連携しながら訪問を行い、住み慣れた地域で、自宅で生活出来るように、生活の
支援を担っている。

○市民公開講座開催状況について

- ・コロナ前には院内で200名程ご参集頂き対面で開催をしていたが、暫く開催出来ずにいた。
昨年度(2022年度)からYouTube配信の形で再開。当院のホームページから視聴可能。
現在16名、18タイトルを公開中。ぜひ利用願いたい。

○港区災害医療合同訓練参加のお知らせ等について

- ・今年6月に院内で夜間想定防災訓練を行った。10月5日には、トリアージ Tent 設置訓練
を行い、25名参加。港区医師会・みなと保健所の方々にも参加頂いた。訓練を行ったこと
により、実際に災害が起きたときの課題や問題点が見えて役立った。機会的な設備を整える
などの取り組みを行っている。10月22日(日)に港区の総合防災訓練にも当院から61名参加。
R5年11月6日には、港区災害医療合同訓練の開催が予定され、当院も参加を予定している。

○診療科案内

- ・新たに、形成外科・血管外科・婦人科の診療を開始し、診療科を充実致しました。
該当の患者さんがいらっしゃれば、ぜひご紹介をお願いしたい。その他の診療科について
も、引き続きバランスの良い、質の高い医療を提供させて頂く努力をしております。

○意見交換

- 昨年、救急車の出場件数は過去最高を記録した。今年も既に昨年を超えてくる勢いがある。
R4年高輪病院の応需率は、平均を大きく上回っている。R5年上半期についても同様。
搬送連絡時間についても、R4年・R5年上半期とも平均を上回っており、引き続き早期搬送
早期受け入れの協力をお願いしたい。
- 当院では、各医師に対し、救急依頼については速やかに応需するよう周知しており
その取り組みの成果によるものかと思う。今後も引き続き応需率が上がるように努力して
いく。

●コロナ5類移行後に入院患者が増加した具体的な理由を教えてください。

➤コロナ初期の頃には若い年齢の患者が多かったが、現在は施設入所中のクラスターなど高齢者の患者が増えていることによる入院が増加している。

●医療機関を受診しコロナ陽性が判明した際に、現在はホテル療養の対応が出来ず、同居家族が高齢や基礎疾患がある場合、どうしても自宅に帰れない状況の患者さんの受け入れは難しいか。

➤ご指摘等の事情があれば、地域包括ケア病棟でコロナ患者さんの入院も選択の1つになる。まずはご相談頂きたい。

●災害医療の件で、防災訓練において、テント設置の協力や、トリアージ訓練にも協力頂き、また顔の見える関係を築くうえで11月6日の港区災害医療合同訓練にも参加頂くことになっており感謝致します。実践的は訓練をする中で見えてくる課題もあり、今後も引き続き連携をお願いしたい。

●高輪病院は、紹介状が無くても受診は可能か

➤紹介状が無くても受診可能です。症状があれば時間を問わず、お問い合わせ頂き診療致しますのでご利用ください。

○次回開催日時について

・次回は令和5年3月の木曜日 16:00 開催を予定。

日時調整の後、決定次第連絡をする。

(4) 閉会挨拶

(了)